

四半世紀にわたるICN（International Council of Nurses：国際看護師協会）大会参加の歴史と次世代への糧

ICN/CNR参加に関する活動年表

2023年 栗原 房江

ICN/CNR 開催年	開催地	参加（敬称略）			概況
		窪田	多田	栗原	
1999	100周年記念 イギリス・ロンドン			○	1997年のICN第21回大会へ参加した方より、情報を得て参加 他の看護職養成課程の教員・学生等との交流を通じて2001年の参加を決意
2001	第22回 デンマーク・コペンハーゲン			○	日本看護協会から2名の学生派遣 渡航前から看護学生と交流を深め、現地で「日本看護学生会準備会」を発起 帰国後、8月に長野県看護大学にて「日本看護学生会」設立
2003	CNR スイス・ジュネーヴ	—	—	—	記録なし（モロッコ・マラケシュから縮小開催）
2005	第23回 台湾・台北	○		○	日本看護協会から3名の学生派遣、学生大会においてカントリーレポートを発表 日本看護学生会経由で情報を得た看護学生や若手看護職も複数参加 帰国後も、中心メンバーで話し合いや歓談の場を定期開催（年4-5回）
2007	CNR 日本・横浜	○	○	○	1977年以降、30年ぶりの日本開催 国内の情報共有に乏しく学生大会の運営に関与した日本人看護学生は皆無、当日 参加数名のみ、学生大会は基礎看護課程の看護学生限定から大学院生も参加可に 過去のICN大会参加時、主催国の看護学生から観光のアテンド、学校や病院見 学、 歓談の場を経験した若手看護職等有志が集い、横浜市内にて「インターナ ショナル ご飯会」を開催
2009	第24回 南アフリカ・ダーバン		○	○	治安の課題からか、日本人看護学生の参加は1名 多田氏と筆者は、2001年以降の看護学生や若手看護職のICN大会/CNR参加支援 経験を集約したポスター発表を通じて主に日本人参加者へ活動を周知 帰国2週間後までに都内で参加報告会を開催
2011	CNR マルタ・バレッタ	○	○	○	日本看護学生会のOBOGを含め、過去の大会参加経験者複数にて参加 事前に、看護学生や若手看護職を対象とした情報交換を行う
2013	第25回 オーストラリア・メルボルン	○			窪田氏により、参加した看護学生および若手看護職等への支援 筆者は看護学生向け雑誌にて周知
2015	CNR 韓国・ソウル	○	△	△	窪田氏と日本看護学生会OB/OGによる看護学生や若手看護職への参加支援 多田氏と筆者は韓国国内における感染症の動向から、万一を考慮してキャンセル
2017	第26回 スペイン・バルセロナ	○			窪田氏による看護学生と若手看護職の参加と現地における支援は継続 看護系雑誌にて、窪田氏による報告
2019	第27回 シンガポール	○			前回までと同様、窪田氏による事前また現地における支援は継続 この大会から、CNRもICN大会としてカウントされるように
2021	第28回 ウェブ開催 (アラブ首長国連邦・アブダビ)	○		○	初のウェブ開催。窪田氏による支援は継続され、看護学生の発表と参加も実現 筆者は10年ぶりの大会参加
2023	第29回 カナダ・モントリオール (Spotlight on Congressも有)			○	窪田氏による支援は継続され、筆者は現地にて微々ながら参加者を支援 帰国後、看護雑誌と当エッセイにて報告
2025	第30回 フィンランド・ヘルシンキ				2025年6月9日ー2025年6月13日開催